

「河川・水防災技術分野」（平成31年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
A I による堤防変状箇所の効率的な抽出に関する技術研究開発	アジア航測株式会社 中村 明彦	A
<p data-bbox="204 533 395 566">&lt;研究概要&gt;</p> <p data-bbox="204 613 1385 808">航空レーザ測量（以下、LP/ALB）、車載型レーザ測量（以下、MMS）、地上LP、UAVによる写真・レーザ計測（以下、UAV）など様々なプラットフォームで取得された、河川堤防周辺の三次元地形データを解析し、A I による深層学習の技術を用いて、主に国土交通省が管理する大河川を対象とした堤防変状・損傷箇所の抽出に関する技術を開発した。</p> <p data-bbox="204 819 1385 893">この技術を用いてスクリーニングすることで、堤防点検の省力化や効率化、変状判定の定量化が期待できるほか、災害対応における状況把握などにも有効である。</p>		
<p data-bbox="204 1090 523 1124">&lt;事後評価指摘事項&gt;</p> <p data-bbox="204 1155 587 1189">A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。